

Takatori

IR REPORT

NEXT
GENERATION
50th 70th

第68期 株主通信

2023年10月1日~2024年9月30日



株式会社 **タカトリ**
The Power of "T"
Technology Trust Teamwork

証券コード：6338

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループは、「創造と開拓」の社是と「世界に誇れる独自技術を製販一体となって構築し、最良の製品とサービスを提供し、人々の暮らしを豊かにする」の企業理念の実現を求め、世界を舞台として挑戦し、常に時代に先駆け、お客様の多様化するニーズに、当社の独自技術とアライアンスによる最新の技術でソリューションを提供し、長期に亘り当社製品のご愛顧をいただいております。

当連結会計年度の実績は、損益面につきましては、電子機器事業の売上がほぼ横ばいで推移した一方、製造コストの低減と諸経費の圧縮に努めた結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は前年実績を上回る結果となりました。

その結果、当連結会計年度の株主配当金につきましては、1株当たり40円の期末配当を実施させていただきました。

翌連結会計年度の当社グループが関わる電子部品業界につきましては、新素材加工機器では、SiCパワー半導体は、自動車・電装品およびエネルギー関連事業に向けた需要が旺盛で、2025年以降は主な半導体メーカーによる設備投資も完了し、量産体制が整う見込みとなっております。また、GaNパワー半導体の主な市場は、高速充電用ACアダプタやサーバ用電源向けに加え、今後は電気自動車向けオンボードチャージャーやDC-DCコンバーターなどへの活用が期待が高まっております。

半導体市場では、データセンター向けAI半導体市場が急速に拡大しており、AI用GPUをはじめとする同分野向けの製造装置に対する需要が今後も好調に推移するものと見込まれております。また、米中関係悪化の影響により主要部品の調達が難しくなっている中国においては、AI半導体の国産化に乗り出しており、堅調なパワー系半導体向けとともに、中国半導体メーカーからの活発な装置需要が今後も続くものと予想されております。

ディスプレイ製造機器では、AR・VR用フラットパネルディスプレイの出荷数は拡大傾向にはあるものの、従来予測を下回ると見られており、同機器向けのフィルム貼付機の販売もその影



代表取締役社長
増田 誠

響を受けるものと見られております。また、中国や欧州で電気自動車販売の勢いが鈍化するなど、2024年中の車載用ディスプレイ世界市場の伸びは微増に留まるものとみられ、コックピット用などの高付加価値品向け装置の需要も同様の影響を受けるものと予想されております。

繊維機器市場につきましては、国内では少子・高齢化の進展等により、衣料品等の大幅な需要増は見込めないものの、欧米の富裕層向けや東南アジア等の新たな中間層・富裕層向けの需要増が期待されております。

医療機器市場につきましては、医療機器のODM市場の拡大が見込まれるとともに、開発した医療機器のOEM供給が堅調に推移するものと予想されます。

このような状況下、翌連結会計年度におきましても、ものづくり企業としての企業価値を高めていくとともに、役員・社員が一体となり経営基本方針である「企業理念の実現」、及び創業者である高鳥王昌が唱えた創造と開拓の精神を「越えて行くモノ」に置き換え、社会の発展に寄与していく所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

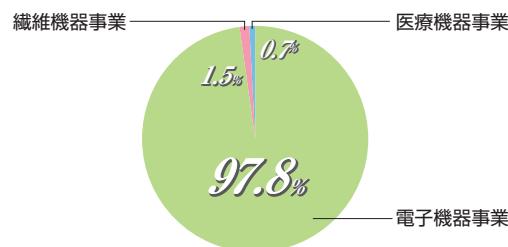
2024年12月

当連結会計年度における世界経済は、個人消費、世界貿易量の回復が経済を下支えしたことにより、底堅さを維持しております。一方、金融政策の不確実性から世界同時株安が発生し、日本でも米国連邦準備制度理事会（FRB）の金利引き下げに伴う円高が急激に進行し、大幅な株価下落が起りました。

米国では底堅い所得環境による個人消費の堅調な推移が続いております。一方、製造業の調整局面が長期化し、設備投資の減速が続くものの、底割れには至らない見込みが継続しております。FRBは、9月に実施した利下げにより緩やかな景気減速とインフレ安定化を見込んでおります。欧州ではサービス輸出が全体を押し上げ、景気は持ち直しとなりました。しかしながら外需の落ち込みにより製造業の景況感が低迷しており、その背景として米中向けの輸出の減少基調が持続しております。中国では消費マインドの冷え込みや不動産市場の深刻な悪化などを背景に内需が依然として停滞する中、IT関連製品やEVに対する海外需要の増加に伴い、景気に改善の兆しがみられています。

一方、国内経済はハイテク関連を中心に幅広い製造業種で生産が一進一退の状態となっており、金利上昇や円高反転への懸念があるものの、企業収益の増加に下支えされた旺盛な設備投資意欲や政府の投資促進策が追い風となり、回復基調で推移しております。

■ 売上高構成比



電子機器事業

新素材加工機器

新素材加工機器では、高品質なSiCインゴットの供給不足問題に起因する工場建設計画の遅延の影響等から、SiC市場は現在小康状態となっており、当面はこのような状況が続くとみられています。一方で中国 정부는半導体企業への支援を強化しており、今後は技術面での進展が期待されることから2025年以降はSiC 8インチウエハの市場形成が見込まれており、パワー半導体需要の増加に伴う供給量の確保が進んでいくと考えられます。売上ににつきましては、当社のSiC材料切断加工装置が国外において高いシェアを維持しており堅調に推移しましたが、販売額につきましては前連結会計年度を下回る結果となりました。



半導体製造機器

半導体製造機器では、電気自動車や産業機器等の効率的な電力制御に寄与するパワー半導体向けの装置販売が好調に推移したほか、ロジック半導体や電子部品向けなど幅広い分野で比較的堅調な動きを見せました。また、海外の半導体メーカー向けの装置販売も堅調に推移したことから、販売額は増加しました。



ディスプレイ製造機器

ディスプレイ製造機器では、当連結会計年度半ばから上向き始めたディスプレイ産業の市況に呼応する形で当社の装置販売も回復基調を取り戻し、MRデバイス用ディスプレイ製造装置の販売が好調に推移したほか、車載ディスプレイ関連のメーカーや二次電池メーカー等へ貼り合わせ装置を販売したことから、販売額は微増しました。



繊維機器事業

繊維機器事業では、日本の素材は海外ブランド等から高く評価される一方で、アパレルは中国・東南アジア等からの輸入依存が強くなり、国内繊維産業との結びつきが希薄化している状況です。産業競争力を維持・強化していくためには、環境負荷の低減や人権に配慮した生産性の高い装置の開発が急務と捉え着手し始めています。

売上高につきましては、量産品は海外生産へシフトされている傾向のある中、前連結会計年度比で増加し、セグメント利益を計上することが出来ました。



医療機器事業

医療機器事業では、他の医療機器メーカーと連携し、継続的に複数の医療機器開発を行っており、一部の開発完了した製品を販売しました。また、「胸腹水濾過濃縮装置M-CART」について学会出展や企業セミナーを開催し、医療機関への販売及びレンタル、試用貸出しを行っております。

このような状況の中、販売額は減少しました。



連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当期 (2024年9月30日現在)	前期 (2023年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	14,790,688	14,892,364
固定資産	2,654,943	3,149,627
有形固定資産	1,974,312	2,048,899
無形固定資産	19,337	23,088
投資その他の資産	661,294	1,077,639
資産合計	17,445,631	18,041,991

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当期 (2023年10月1日から 2024年9月30日まで)	前期 (2022年10月1日から 2023年9月30日まで)
売上高	16,082,270	16,367,981
売上原価	11,779,759	12,392,555
売上総利益	4,302,511	3,975,425
販売費及び一般管理費	1,515,683	1,510,671
営業利益	2,786,827	2,464,753
営業外収益	69,553	144,222
営業外費用	97,546	9,407
経常利益	2,758,834	2,599,568
特別損失	—	906
税金等調整前当期純利益	2,758,834	2,598,662
法人税、住民税及び事業税	770,919	680,044
法人税等調整額	50,022	10,732
親会社株主に帰属する当期純利益	1,937,892	1,907,885

(単位：千円)

科目	当期 (2024年9月30日現在)	前期 (2023年9月30日現在)
負債の部		
流動負債	7,447,512	9,738,350
固定負債	70,568	121,054
負債合計	7,518,080	9,859,404
純資産の部		
株主資本	9,825,409	8,106,078
資本金	963,230	963,230
資本剰余金	1,352,321	1,352,321
利益剰余金	7,528,132	5,808,645
自己株式	△18,274	△18,119
その他の包括利益累計額	102,141	76,509
純資産合計	9,927,550	8,182,587
負債純資産合計	17,445,631	18,041,991

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当期 (2023年10月1日から 2024年9月30日まで)	前期 (2022年10月1日から 2023年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	213,785	1,500,092
投資活動によるキャッシュ・フロー	146,639	△114,283
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,475,357	△5,155
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,928	755
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,826,854	1,381,408
現金及び現金同等物の期首残高	4,437,815	3,056,406
現金及び現金同等物の期末残高	6,264,669	4,437,815

売上高

(単位：百万円)



経常利益又は経常損失 (△)

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)

(単位：百万円)



1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△)

(単位：円)



総資産／純資産

(単位：百万円)

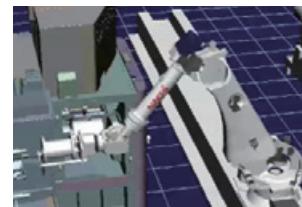
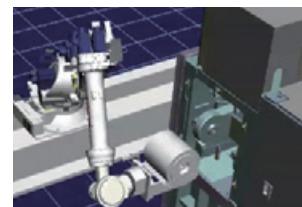


研究開発費

(単位：百万円)



パワー半導体向けSiC材料切断加工装置『MWS-SiC Xα』省力化自動交換ラインが2025年に完成予定です



ワイヤーソーでもっとも難易度・危険度が高い、下記の重量物の交換作業の課題を解決いたします

- ①ワイヤーを貯線する800km巻線リール（約120kg）の自動脱着
- ②SiC結晶をスライスするワイヤー整線用ワークローラー（約40kg）の自動脱着
- ③SiCインゴット（約25kg）の自動脱着

- ・多関節ロボットと特殊ハンドを駆使し、重量物を安全に脱着出来る自動交換システム（Phase1）が完成いたしました。
- ・現在、更なる全自動化（Phase2）を目指し、開発を続けております。

「セミコン台湾2024」に出展いたしました

2024年9月4日～6日／台湾(台北)



テーブ自動交換など新機種のパネル出展をいたしました。タカトリの貼付、剥離、真空技術を活かした多彩な装置の紹介をさせていただきました。

全国健康保険協会奈良支部より『職場まるごと健康宣言』事業所に認定いただきました

2024年9月

当社では、『健康経営優良法人2025』の認定に向けて、健康経営に関する取り組みを進めております。

その一環として全国健康保険協会奈良支部が実施する『職場まるごと健康宣言』に参加し、宣言事業所として認定をいただきました。

健康経営に取り組むことで、従業員が心身ともに「毎日が楽しく働ける職場」をつくり、更なる生産性の向上に努めてまいります。



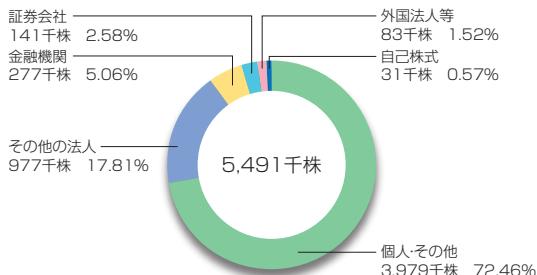
株式の状況 (2024年9月30日現在)

■ 発行可能株式総数	17,000,000株
■ 発行済株式の総数	5,491,490株
■ 株主数	8,197名
■ 大株主	

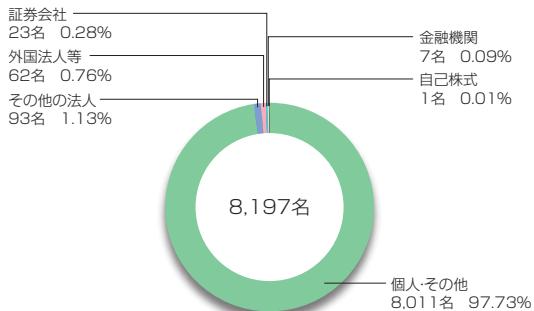
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
(有) コトブキ産業	347	6.37
タカトリ共栄会	283	5.19
大阪中小企業投資育成(株)	187	3.43
高鳥政廣	143	2.62
岡島恵子	117	2.16
仙波周子	104	1.91
西村幸子	100	1.84
(株) 南都銀行	95	1.74
日本生命保険(湘)	94	1.73
(株) 日伝	82	1.52

(注) 持株比率は自己株式(31,367株)を控除して計算しております。

■ 所有者別株式数分布状況



■ 所有者別株主数分布状況



会社概要 (2024年9月30日現在)

■ 商号	株式会社タカトリ
■ 本社	奈良県橿原市新堂町313番地の1 TEL.0744-24-8580 FAX.0744-24-6616
■ 営業所	徳島営業所 徳島県徳島市佐古三番町7-9
■ 子会社	高鳥(常熟)精密機械有限公司 中国/江蘇省常熟市碧溪街道万盛路9号4幢101室
■ 設立	1956年10月
■ 資本金	963,230千円
■ 代表者	代表取締役社長 増田 誠 代表取締役副社長 松田 武晴
■ 従業員数	207名(グループ従業員数 210名)
■ 事業内容	電子部品製造機器の製造及び販売、繊維機械の製造及び販売、医療機器の製造及び販売

役員 (2024年12月20日現在)

■ 代表取締役社長	増田 誠
■ 代表取締役副社長	松田 武晴
■ 取締役	重富 謙一
■ 取締役	正岡 智明
■ 取締役(社外)	川村 真
■ 常勤監査役	大島 章良
■ 監査役(社外)	山田 磯子
■ 監査役(社外)	岸部 輝一

株主メモ

事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎年12月
基準日	①定時株主総会 9月30日 ②剰余金の配当(期末) 9月30日 ③ // (中間) 3月31日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
証券コード	6338
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
公告の方法	電子公告とする。 当社ホームページ (https://www.takatori-g.co.jp) ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記連絡先にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

<https://www.takatori-g.co.jp>



Facebookのご案内



株式会社タカトリ
The Power of "T"
Technology Trust Teamwork

奈良県橿原市新堂町313番地の1